



コスモス



皐月
No. 2

【知】進んで学びよく考える子 【徳】明るく思いやりのある子 【体】たくましくねばり強い子

教えること 支えること 手を放すこと

校長 野本 昌宏



通学班の班長さんが、後ろの1年生を気遣いながら登校してくる様

子。教師の質問にピンと手を伸ばす様子。助け合い清掃に取り組む様子。学校では、子どもたちが進級を機に気持ちを新たに学習や生活に取り組む様子が見られます。

進級から1か月ほどになりますが、ご家庭でのお子様の様子はいかかでしょうか。お子様の様子で、気にかかることがありましたら遠慮なく、学校までお知らせください。お互いに良い解決の方法を見付けていきましょう。

学校はある意味小さな社会であり、学校での生活は、社会生活を営んでいく上での練習段階と捉えることができます。練習段階ですから、例えば自転車に初めて乗るときにのように、乗り方をしっかりと「教える」ことが必要です。そして、練習を繰り返す段階では、後ろから「支える」ことが必要です。一方で、「転んでしまうかも」「危ないから」といって、自転車の後ろを大人がずっと持っていては、いつまでも一人で乗れるようにはなりません。

子どもの自立を考えたときに、自転車の練習と同じように、どこかで大人が手を放す（けれども、その後どうなるかは見届けている）ことが必要です。子どもの様子から手を放すタイミングは何となくわかるものではないでしょうか。それでも、早すぎたりして、子どもが失敗をしてしまう（自転車の例でいえば、バランスを崩して転んでしまう）ことは皆無ではありません。そんな時こそ、駆け寄って慰めたり、できたことをほめたりしていけばよいのでないでしょうか。

必要なことは、しっかり教え、支えるけれども、子どもたちに様々なことをチャレンジさせていきたいと考えています。保護者の皆様、地域の皆様にも子どもたちを引き続き温かく見守っていただければ幸いです。